

令和5年7月1日

中学校長殿  
関係卓球クラブ長殿

一般社団法人茨城県卓球連盟  
会長 川田 進  
(公印省略)

令和5年度 全日本卓球選手権大会カデットの部(中学2年以下)  
茨城県大会(兼・全国大会予選会)開催について

盛夏の候、ますますご健勝のことと存じます。日ごろより本連盟の活動につきましてご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。  
さて、標記の件につきまして、下記のように開催することになりましたので、ご配慮の程よろしくお願いいたします。

記

- 1 主催 一般社団法人茨城県卓球連盟
- 2 協賛 日本卓球株式会社
- 3 期日 令和5年9月9日(土) ダブルス  
9月10日(日) シングルス
- 4 会場 ザ・ヒロサワシティ体育館(下館総合体育館)  
TEL 0296-28-5040  
8:00 開場 9:00 開会行事 9:20 試合開始
- 5 競技種目
  - ・13歳以下男子シングルス
  - ・14歳以下男子シングルス
  - ・男子ダブルス
  - ※13歳以下(中学1年・小学生)
  - ・13歳以下女子シングルス
  - ・14歳以下女子シングルス
  - ・女子ダブルス
  - 14歳以下(中学2年)
- 6 競技方法
  - ・トーナメント方式及びリーグ戦を組み合わせる。
  - ・現行の日本卓球ルールに準ずる。
  - ・大会球は、日本卓球協会公認球40mm(ニッタク3スタープレミアムクリーン40+)で行う。
  - ・シングルスはリーグ戦から、ダブルスはベスト4決定からタイムアウトを認める。
  - ※コロナ禍の影響により、今後内容が変更される可能性があります。
- 7 参加資格
  - ・該当種目の年齢であること。
  - ・今年度日本卓球協会及び本連盟に登録済の者。  
(令和5年度JTTAゼッケンを所有する者)
  - ・5地区(県東・県南・県西・県北・中央)の予選会を通過した者。
  - ・シングルスとダブルスの両方に出場することができる。
  - ・ダブルスは同校もしくは同クラブチームの生徒でペアを組み、各地区予選会に出場すること。
  - ・推薦選手(県大会に出場できる)
    - ア 令和4年度全日本選手権カデット出場者
    - イ 令和4年度東京選手権カデット県予選通過者
    - ウ 令和4年度県新人体育大会シングルスベスト16
    - エ 令和5年度県総合体育大会シングルスベスト16  
(13歳以下(中学1年)は令和5年度県民総体出場者)  
(ダブルスベスト4のペアは同一ペアに限り、ダブルスのみ推薦とする。)
  - ・推薦選手同士でダブルスを組んだときは、推薦ペアとして県大会に参加できる。

《各地区代表数》

男女13歳以下シングルス 8名

男女14歳以下シングルス 24名

男女ダブルス 8組

※14歳以下男女シングルス、ダブルスは昨年度と枠数  
が変更になります。

- 8 参加料 シングルス 1名 500円  
ダブルス 1組 500円  
・中学生…各地区委員長が組み合わせ会議の時に一括して納める。  
・小学生…当日の受付で徴収する。
- [小学生の参加] ・令和5年度全日本ホカバ県予選会ホープス(小学6年生以下)  
ベスト8, カブ(小学4年生以下)ベスト4, パンビ(小学2  
年生以下)ベスト2の選手は、県カデット13歳以下の部に直接  
出場できる。  
ダブルスは全日本カデットダブルス予選会の上位2組が、県カデ  
ット大会に出場できる。
- 9 全国大会について  
・代表・・・シングルス各学年5名・ダブルス5組  
・期日・・・令和5年11月3日(金)～5日(日)  
・場所・・・徳島県・アミノバリューホール(鳴門県民体育館)  
※ 全国カデット大会参加の旅費は各市町村又は各学校・各自  
負担ですので宜しくお願いします。
- 10 参加申込  
[中学生] 申し込みは、各地区委員長が一括して申し込む。  
[小学生] 申し込みは、ホープス部代表が一括して申し込む。
- 11 組み合わせ会議 9月2日(土)かすみがうら市立千代田義務教育学校  
カデット部(県役員・各地区代表役員)とホープス部代表で実施予定
- 12 表彰 ・各種目ともベスト4まで表彰する。
- 13 その他 ・令和5年度JTТАゼッケンを必ず着用すること。  
・保護者の観戦も含め、入場制限は設けない。  
・健康チェック表、参加者確認名簿等の提出は設けない。
- ※ 大会参加にあたって次のことにご協力ください。  
・ゴミの持ち帰り・・・利用前よりきれいに。  
・体育館使用上のきまり・・・ていねいにつかう。  
・上, 下のシューズの区別(体育館シューズで外に出ない。)  
・トイレをきれいに使う。  
・大会中の事故については、主催者は応急処置のみ行い、  
それ以上の処置については個人または団体の責任とします。